

九州国立博物館を愛する会・会報

アクト

第1号

2007年10月15日発行

九州国立博物館を愛する会



ごあいさつ

九州国立博物館を愛する会
理事長 前田 和美



「九州国立博物館を愛する会」の会報誌の発刊にあたり、ご挨拶申し上げます。本会は今年の6月25日に設立し、短期間で会員100名を超え、多くの団体、企業から協賛などの問い合わせが寄せられ、会への期待の高さが伺えます。誘致を柱とした市民運動を進めた「誘致する会」から九博を通して生涯学習、社会運動を成熟発展させた「支援する会」へと進み、それらの理念と活動を継承し、価値ある活動を継続していく為に「九州国立博物館を愛する会」が設立されました。本会はより身近で親しみのある博物館の発展を願い ①九博支援事業 ②まちづくり事業 ③ひとづくり事業などを行ってまいります。会員の皆様の今後、更なるご支援・ご協力をお願いしましてご挨拶と致します。

創刊に寄せて

九州国立博物館
館長 三輪 嘉六



この度、「九州国立博物館を愛する会」の会報が創刊されましたことに、心からお祝いとお慶びを申し上げます。

当館は10月で開館二周年を迎え、360万人ものお客様をお迎えしています。これも「愛する会」のご支援・ご協力の賜と感謝しております。

振り返れば、東京で開館準備をしていた頃、本会の存在を知り、皆様の九州国立博物館に対する期待と熱意を痛感するにつれ、我々に与えられた責任の大きさをあらためて感じさせられたことを思い出します。

当館は、「地域社会に開かれた生きている博物館」を目指しています。今後とも皆様と一緒に目標達成のために邁進する所存です。

そしてこの会報の発行を契機に相互の絆の深まりを期待しております。

会報紙『アクト』について

思っているだけでは駄目、話すだけでも駄目。行動する事によって初めて具体的に物事が動き出すと思います。私達はまず行動しようという思いを込めて「行動=ACT, (a c t i o n)」と名付けました。



《特別展紹介》 【本願寺展 ～親鸞と仏教伝来の道～】

今回は浄土真宗十派の内、本願寺派総本山山西本願寺ゆかりの文化遺産を通して、親鸞聖人と浄土真宗という仏教の教えをたどる、全体が四章で構成された特別展です。

第一章は親鸞聖人の「御影（肖像画）」、「絵伝（絵物語）」、余白にびっしり書き込みをされた「阿弥陀経注（浄土三部経の一つ）」、「教行信証（浄土真宗の教えを述べた書）」など、親鸞聖人信仰の生涯に出会い、国宝・重文を中心に展示されています。

第二章では、本願寺歴代門主の「肖像画」、最古の写本蓮如筆による「歎異抄（親鸞の没後、親鸞が説いた教えとは異なって広まっていくのを悲しんで書かれた、弟子の唯円の書）」など、本願寺発展と浄土真宗布教の歴史を知ることができます。

第三章は、名筆・茶道具・襖絵など集めた美術工芸品の登場です。国宝の「本願寺本三十六人家集（いわゆる三十六歌仙の歌集、凝った紙材と装飾に優雅な書体、王朝文化の極みを尽くす）」は逸品です。本願寺には国宝の白書院・飛雲閣などの建物があり、数多くの障壁画があります。ここではそれらの実物に直面し、茶の湯など合わせて朝廷公家文化、雅の世界を十分にお楽しみいただけます。

第四章は少し趣が変わって、「大谷探検隊と仏教伝来の道」のコーナーです。第二十二代門主・大谷光瑞師は明治35年から13年間3次にわたり、仏教伝来の道中国西域に点在する仏教遺跡に調査隊を派遣されました。その発掘調査・研究の成果が展示されています。

以上、展示品の一部を簡単に紹介いたしました。国宝4件、重要文化財24件を含む130件余り、本願寺ゆかりの展覧会が九州国立博物館で観られます。お見逃し無いようにぜひ御来館ください。

《九州国立博物館 イベント情報》

| 開催日 | 時間 | その他 条件 | もよおし | 会場 | 問合せ (※注1) |
|---------------|--------------------|-----------|---------------------------------------|------------------------|-------------------------|
| 10月23日 (火) | 13:30～ 30分程度 | 申込なし | ミュージアム・トーク 「釈迦誕生図の修理について」 | 九州国立博物館 4F 文化交流展示室内 | C 注：文化交流展 の入館料は必要 |
| 10月27日 (土) | 14:00～ | 申込なし | 第13回教育講座 アジアージュ 「北部九州地域における経筒」 | 九州国立博物館 ミュージアムホール | C |
| 10月28日 (日) | ①11:00～ ②14:00～ | 要申込 | 特別展関連イベント 「落語のルーツは浄土真宗 のお説教!？」 | 九州国立博物館 ミュージアムホール | B |
| 10月30日 (火) | 13:30～ 30分程度 | 申込なし | ミュージアム・トーク 「釈迦誕生図・美しい朝鮮の 仏画」 | 九州国立博物館 4F 文化交流展示室内 | C 注：文化交流展 の入館料は必要 |
| 11月4日 (日) | ①13:00～ ②15:00～ | 申込なし | きゅーはくミュージアム コンサート | 九州国立博物館 エントランスホール | A |
| 11月10日 (土) | ①11:00～ ②15:00～ | 申込なし | 特別展関連イベント 「心に響く浄土の調べ」 | 九州国立博物館 ミュージアムホール | B |
| 11月10日 (土) | 13:30～ 15:00 | 要申込 | ガムランワークショップ ～五感で知るアジアの青銅 楽器の魅力～ | 九州国立博物館 エントランスホール | C |

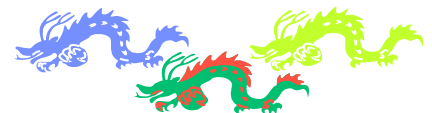
(※時間、場所、内容等が予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。)

※注1：A・九州国立博物館ハローダイヤル 050-5542-8600

B・西日本新聞社事業局企画事業部 092-711-5550

C・九州国立博物館 交流課 TEL092-929-3294

FAX092-929-3980



《活動報告》

1. はじめに 九州国立博物館を愛する会は、平成19年6月25日、多数のご来賓と入会希望の皆さま方のご参加のもと設立総会を開催し、全会一致の承認を経て発会し、いよいよ活動を始めました。

会員数は9月末現在で個人会員109名、法人会員3社です。発足と共に多くの方々にご入会いただきました。現在も団体・法人会員のご入会を積極的に働きかけておりますし、8・9月も個人入会者は増えてきています。会の前途に明るい光が見えてきました。後は積極的に活動をすることで、皆さまのご理解をいただき、さらに入会者を増やしたいと思います。

2. 理事会 原則、定例会を月1回開催しています。

第1回を7月21日(土)、第2回8月28日(火)、第3回9月20日(木)に実施しました。10月24日(水)に第4回の予定です。

主な協議・審議事項は、新会員入会承認の件、第1回・第2回「例会」実施計画の件、九博開館2周年記念事業(「太宰府 古都の光」参加)計画の件、あわせて「古都の光」と「筑紫ルネッサンス第3章〜つくし文化遺産と世界遺産」の後援の件、太宰府政庁まつり参加計画の件、海外視察研修(中国上海・南京・北京)の件、会報の発行の件などでした。詳細に慎重に審議し、その決定事項を基に各委員会が活動を進めています。

3. 各委員会 「総務」・「交流」・「事業」の3委員会に分かれて活動しています。

(1)「総務委員会」・・・会全般の管理を担当する

第2回例会の計画と準備、理事会開催の準備と進行を担当する。

(2)「交流委員会」・・・海外視察研修に向けて計画・準備にあたる。

会員拡大計画・実働体制の検討 特に法人会員の勧誘にあたる。

(3)「事業委員会」・・・本委員会は、さらに以下の3部会で構成されており、活動部員33名が各部会に分かれて活動している。

●ピッカ美化活動部会--- 毎月第1月曜・第3金曜(10:30~)を活動日とする。



博物館花壇にポチュラカを植えたが、今炎天の空に向かって色とりどりの花が咲き来館者を楽しませている。博物館周辺道路のごみ拾いや国博通りの草取りなど美化活動に楽しく励んでいる。

●イベント部会----- 「古都の光」(9/25)「政庁まつり」(10/13)



参加プロジェクト結成。

「古都の光」では「影絵」(九博のあじっばの展示品ワヤンによるものと、自作のものを使用)と九博庭園に九博アピールの「光のオブジェ」制作をして多くの人に見ていただき大変好評であった。

「政庁まつり」では光安副館長と共に舞台あいさつ、テントでは風ぐるまや影絵などのワークショップで九博PRをした。



●広報部会----- 今年度は会報の発行を軌道にのせることとし、今回第1号の発行にいたった。



《リレー随想》

都府楼散歩—朝のラジオ体操

太宰府国分 古屋友喜



私は、朝の散歩を日課として続けています。病気での会社退職後、9月20日で丸7年になります。季節で違いますが、夏は朝6時ごろ国分の自宅を出、都府楼跡まで歩き、自宅まで戻ってくる約1時間程度の散歩です。

コースは、国分(自宅)から、三号線バイパス沿いの道を歩き、西鉄都府楼前駅の横を通り、御笠川に出、川沿いの道を都府楼跡方向に歩き、「朱雀大路」を左折、正面に大野山を背景にした都府楼跡に到着します。散歩コースでの「朱雀大路」から都府楼跡を眺める景色は、絶景ポイントのひとつです。その後坂本八幡宮の裏から歴史の散歩道を通り、旧三号線に出て国分の自宅まで戻ります。

今年の夏、「都府楼跡」でのイヤホーンで聞きながらの「ラジオ体操」を始めました。夏休みの時期は「全国巡回ラジオ体操」が、各地の移動先からラジオ中継で流れます。各地の産物や名所の説明の後、体操が始まりますので、全国各地を回っている気分で楽しめました。



「都府楼跡」の朝6時半は、太宰府市民の老若男女が散歩に体操に多く集まり、夏は暑くも無く、絶好の時間帯の様です。

募集!

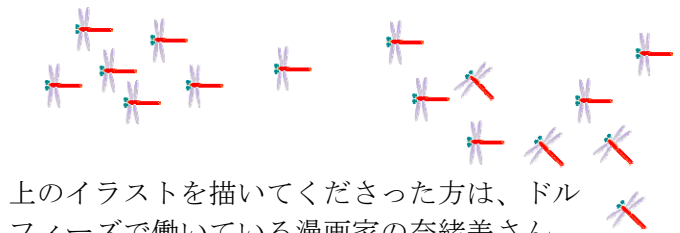
次回のリレー随想 募集

文章やエッセイを書くことが好きなあなた、ご自分の想いを発表しませんか。忘れられない話、失敗談、ほのぼのとしたありふれた話、自慢話など何でも構いません。

採用された方にはご本人のイラスト画(原画)をさしあげます。

なるべく **400字以内**に収めてください。締め切り：**12月20日**

連絡先：090-3414-1599 (佐藤)



上のイラストを描いてくださった方は、ドルフィーズで働いている漫画家の奈緒美さん。若いキュートな女性です。

編集後記

「愛する会」の会報紙『アクト』の第1号が創刊されました。九博も3年目を迎え、いよいよこれからが本番です。市民の皆さんの九博を大切に思う気持ちがこの<太宰府の宝>を益々輝かせてくれる事でしょう。九博と市民の皆さんを結ぶ<かけはし>として「愛する会」のスタートです。

S. F